



地上の荒廃

わたしの注意は、ふたたび地上に向けられた。悪人は滅ぼされて、その死体ごろがっていた。神の怒りは最後の7つの災害となって住民に降りそそぎ、人々は苦痛のために舌をかみ、神をのろった。エホバの怒りの特別な目標は偽りの牧者たちに向けられていた。目玉がその眼窩^{がんか}の中で、そして舌が口の中で焼けとけてもなお彼らは立っていた。聖徒たちが神のみ声によって救い出されたあと、悪人の群れは怒りをお互い同志に向け合った。地は一面に血の洪水に見え、見渡すかぎり死体ごろがっていた。

地上は荒れはてて荒野のように見えた。地震で倒れた都市や村々の廢墟がうず高くなっていた。山々がうつり去った跡には、大きな穴が口を開いていた。海から打ち寄せられたり、地が裂けてころがり出たごつごつの岩石が、あちらにもこちらにもころがっていた。大きな木が根こそぎになって、地面に吹き倒されていた。ここがサタンと悪天使たちにとって、1000年間の住居になるのである。ここに彼は閉じこめられて、その荒れはてた地上をさまよい歩き、神の律法に対する自分の反逆の結果を見せられる。彼は、自ら招いたわざわいの結果を、1000年の間、存分に味わうことができる。この地上から外へは出られないサタンは、他世界を飛びまわって、墮落したことのないその住民を誘惑したり、妨害したりすることは許されない。この期間中、サタンは極度に苦痛をおぼえる。墮落して以来、彼の悪の能力はたえず働いていた。しかし今、彼はその能力をとりあげられ、放置されるままに、墮落以来自分の果たしてきた役割について回顧し、また恐怖すべき自分の将来を、恐れとおののきをもって待ちうけねばならない。その恐るべき将来において、彼は自分がこれまでやってきたすべての悪について、裁きを受け、また彼が人に犯させたすべての罪について処罰を受けねばならないのである。

天使たちと救われた聖徒たちの勝利の叫びが、幾万の楽器を奏する音のようにひびきわたるのをわたしは聞いた。彼らは、これから後サタンに苦しめられたり、誘惑されたりすることはなくなるのである。また他世界の住民たちも、サタンの存在と誘惑から救われるのである。



霊の賜物

それからわたしは、イエスと救われた聖徒たちが、み座にすわっているのを示された。聖徒たちは、王としてまた神の祭司として統治した。キリストは、ご自分の民とともに、死せる悪人を裁かれた。彼らは、悪人たちの行為を、法令の書すなわち聖書に照らしあわせて、その行ったわざにしたがって各々に判決をくださった。それから彼らは、悪人たちがそのわざにしたがって受けねばならない運命を各々に割りあて、それを死の書の各目の名前のところに記入した。サタンと悪天使たちもまた、イエスと聖徒たちによって裁かれた。サタンの刑罰は、彼が欺いた者たちの刑罰よりもはるかに重かった。サタンの苦しみは、比べものにならないほど彼らよりも大きかった。サタンは欺かれた人々がみな滅びてしまった後まで生き残って、長い間苦しみつづけるのである。

千年期の終わりに、死せる悪人たちの審判が終わると、イエスは聖徒たちと天使の大軍をひきつれて都を出発された。イエスがある大きな山の上におり立ち、足を地面につけられると同時に山は裂けて大いなる平地となった。その時上を仰いで見ると、そこには12の基と12の門のある大いなる美しい都が見られた。門は四方の側に各々3つずつあって、門ごとに天使がついていた。わたしたちは、「都だ、大いなる都が天の神のみもとからおりてくる」と叫んだ。都は、目もくらむばかりにまぶしく照り輝く栄光のうちに、イエスが備えられた大いなる平地に落ちついた。

第2の復活

それから、イエスと供奉の聖天使たちの全員およびすべての聖徒たちは、都を出発した。天使たちは総指揮官のイエスをかこんで道中を護衛し、救われた聖徒たちの隊列がこれにつづいた。それから、恐るべき大いなる荘厳さのうちに、イエスは死せる悪人たちを呼び起こされた。彼らは墓に入った時と同じ病弱な体をもって現れた。



霊の賜物

それはなんという光景、なんという場面であろう。第1の復活にあずかった人々は、若々しい不死の姿で現れたのに、第2の復活には、どの人にもろいの跡がみられた。地の王たちや貴族たち、卑しい者たち、学問のある人ない人、みな一緒に出てきた。だれもがみな人の子を仰いで見た。キリストをあざけり軽んじた人々も、その聖なる額にいばらの冠をかぶせた人々も、彼を^{あし}輦で打ちたたいた人々も、みな王者の威厳をそなえられたキリストを仰いで見た。審判の庭でイエスにつばをはきかけた者は、いまイエスの刺し通すような眼光とみ顔に顔をそむける。イエスの手と足に釘を打ちこんだ者は、いまそのはりつけの跡を目の前に見る。イエスのわき腹をやりで刺した者は、そのお体に自分たちの残酷な跡を見る。彼らはみな、いま目の前にあるお方こそ、自分たちがはりつけにし、その死の苦しみを愚弄したイエスその人であることを知って、苦悶の長いうめき声をあげ、王の王、主の主なるキリストの前からのがれようとする。

みんなは、岩の間に逃げこんで、かつて自分たちがあざけたイエスの、恐るべき栄光から身をかくそうとする。彼らはキリストの威厳と非常な栄光に圧倒されて苦痛を感じ、声をそろえて、恐ろしいまでにはっきりと、「主の御名によってきたる者に、祝福あれ」と叫ぶ。

イエスと聖天使たちが、すべての聖徒たちをしたがえて、ふたたび都の中に入ると、あたりの空気は、死の運命に定められた悪人たちの嘆き悲しむ声に満たされた。その時わたしは、サタンがふたたび働きはじめるのを見た。彼は人々の間を走りまわって、弱っている者を力づけ、自分や部下の天使たちは力があるのだと告げた。彼はよみがえった無数の群衆を指さした。その中には戦闘に熟練し、国々を征服した強力な戦士や王たちがいた。またそこには、戦いに1度も負けたことのない大いなる巨人たちもいた。そこには、接近しただけで諸国をふるえあがらせた、高慢で野望に満ちたナポレオンもいた。そこにはまた、征服欲にかられて戦争を起こした堂々たる体格とりっぱな^{ようぼう}容貌の人々もいた。彼らは、死んだ時と同じ考え方をもったまま、墓から出てきていた。



霊の賜物

彼らは死ぬまで征服欲に支配されていたが、いまもなお、その同じ征服欲をもちつつづけている。サタンは部下の天使たちと相談し、またこれらの王たちや征服者たちや有力者たちと相談する。それからサタンは、自分の巨大な軍勢をみわたして、都の中の一団は少数で弱い勢力だから、攻め上って都を占領し、住民を追い出して、その富と栄光を手に入れることができるかと告げる。

サタンは人々をだますことに成功する。彼らはすぐに戦闘準備をはじめめる。その巨大な軍隊の中には多くの技術者がいて、彼らはあらゆる種類の武器をつくる。それからサタンを将として大軍が行動を起こす。王や戦士たちがサタンのすぐあとに従い、群衆はそれぞれ隊をなしてつき従う。各隊には指揮者がいて、彼らは整然と、神の都を目ざして、荒廃したでこぼこな土地を進軍する。イエスが都の門を閉じられると、この大軍は都を包囲し激戦を予期して戦闘態勢をとる。

イエスとすべての天使軍、および、すべての聖徒たちは、彼らの頭に輝かしい冠をいただき、都の城壁の上に立つ。イエスは、威厳をもって、「お前たち、罪人よ。義人の報いを見よ。わたしに贖われた者よ、悪人の報いを見よ」と言われる。大群衆は、城壁の上の輝かしい1団を見る。そして、彼らが、この人々の輝かしい冠と、彼らがイエスの姿を反映して、顔を栄光に輝かせているのを見、また王の王、主の主であられるイエスの、比類のない栄光と威厳とを見る時に、彼らは、勇気を失ってしまう。彼らは、自分たちがどんな宝と栄光を失ったかを実感し、罪の支払う報酬は、死であることを知るのである。彼らは自分たちが軽べつしていた清く幸福な一団が、栄光と誉れと不死と永遠の生命を着せられているのを見る。一方、自分たちは、あらゆる卑しい憎むべきものと共に都の外にあることを見るのである。



第2の死

サタンは、部下の者たちの中にとびこんで行って、群衆に行動を起こさせようとする。しかし天から彼らの上に火がくだって、大いなる人、力ある人、高貴な人や卑賤な人の区別なく、すべての者が焼き尽くされる。ある者は、速やかに焼きつくされたが、長く苦しむ者もあるのを、わたしは見た。彼らは、それぞれの行為に従って罰せられた。ある者は焼きつきののに何日間もかかった。まだ焼け尽きていない部分がある限り、苦痛感も残っているのであった。「生命の虫は死なない。わずかでも焼き尽くすものが残っているかぎり、火は消えない」と天使は言った。

サタンと彼の天使たちが最も長く苦しんだ。サタンは、彼自身の罪の重荷と罰だけでなく、贖われた人々の罪をも負わせられて苦しむのであった。彼は、また、自分が陥れた魂のためにも苦しまなければならない。こうして、サタンとすべての悪の軍勢が焼き尽くされ、神の正義が満足するのをわたしは見た。そして、すべての天使の軍勢とすべての贖われた聖徒たちは、大きな声で「アーメン」と言った。

「サタンは根であって、彼の子供たちは枝である。彼らは、今、根も枝も焼き尽くされた。彼らは永遠に死んだのである。彼らは復活することはない。そして、神は、清い宇宙を持たれるのである」と天使は言った。そして、わたしは、悪人たちを焼き尽くした火が、不用のものを焼いて、地を清めるのを見た。わたしが、もう1度見たところ、地は清められていた。そこには、のろいのあとは1つもなかった。裂けたり、でこぼこのあった地球の表面は、今、平坦で広々とした平野になった。神のすべての宇宙は清まり、大争鬪は、永遠に終わりを告げた。どこを見ても、何を見ても、すべては美しく聖であった。そして、贖われたすべての人々は、老いも若きも、大なる者も小なる者も、彼らのきらめく冠を贖い主の足もとに投げ出して、彼の前にひれ伏して彼をあがめ、永遠に生きておられる方を礼拝した。栄光に輝く美しい新しい地球は、聖徒たちの永遠の嗣業であった。国と主権と全天下の国々の権威とは、いと高き者の聖徒たちに与えられた。そして、彼らは、それをいつまでも、永遠に所有するのであった。